

回復期リハビリテーション病棟における 退棟患者人数とその内訳

疾患区分	人数
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	10人
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	36人
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	15人
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	1人
股関節又は膝関節の置換術後の状態	3人
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	1人
その他	0人
合計	66人

（令和8年4月～令和8年6月）

実績指数

実績指数とは退院した患者さんについて、入院した時と比べてどれだけ回復したかを点数化したものです。
実績指数の数値が大きいほど、リハビリの効果があったと言えます。
当院は施設基準上、「実績指数35以上」が必要です。

施設基準上の数値	当院
35.0	46.7

（令和8年1月～令和8年6月）

社会医療法人 長崎記念病院